

教育のトビラ
CASE.02



子どもたちが
えがおをの
つくりたい。

川渕
秀美

経営学部経営学科 40 期
内定先：株式会社ベネッセ・コーポレーション

教えるより、子どもの笑顔を作る仕事を。

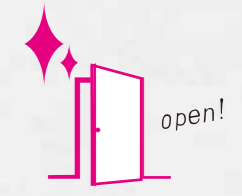
子どもが大好きな私は、将来「子どもの笑顔を作る仕事がしたい！」そんな漠然とした夢を抱き創価大学に入学しました。経営学の授業と併せて教育学を学ぶ中で「机上の空論にたくない」と、1・2年次には教育現場でのボランティア（学童保育）や、子ども分野でのアルバイト（ポケモンセンター）に挑戦。その中で私は、教師として「教える立場」ではなく、自分が創ったもので子どもの人生に影響を与えたいと思うようになりました。



【大好きな映画】
Good Will Hunting (グッド・ウィル・ハンティング)
一人の先生との出会いで、少年が劇的に変わる。教育の可能性を、心で理解した作品です。

絵本アプリ制作や、ドイツ留学の経験から、教育業界へ進みたいという思いが強くなった。

そこで、実際に何か作ってみようと、3年次にはゼミでアプリ開発コンテストに出場し、啓発絵本アプリを作成。4年次のドイツ留学ではヨーロッパ教育にも触れ、教育の必要性や面白さを再確認し、将来は教育業界に行きたいという思いが強くなっていきました。



子どもたちの
学びへのワクワクを創りたい！



インターンシップ先の他大学生と

そして帰国後に、教育業界を中心とした就職活動をする中で、ベネッセの課題達成型インターンシップに参加。自身のやりたいことと合致した仕事内容に加え、ビジョンや志などのマインド面でも共感したベネッセへの入社を決意しました。入社後はデジタル教材の企画を通し、子どもたちに学びのワクワク感を創り出したいです！

私の
INTERNSHIP

ベネッセのインターンシップでは、教育アプリ開発を経験。

ヒアリング調査や時事問題の収集から企画立案し実際にデモ機まで作りました。さらに、インテルのインターンシップにも参加。女子大生10名で企画立案に挑戦。電子機器の無機質なイメージを払拭し、「女子が外でも使えるような可愛いパソコンが欲しい！」と考え、企画書を作成。社長の前でプレゼンしました。

就活記録ノート
※IT系女子の私ですが、自分の足跡はアナログで。



ある日のスケジュール

- 9:00 ~ 12:00 ビジョンシェアリング「社員さんの教育への熱い想いを知る！」
- 12:00 ~ 13:00 社員の方とランチ 就職活動のアドバイスももらっちゃった♪
- 13:00 ~ 19:00 企画会議のあとアプリ開発 何度もフィードバックを受け、製作に活かす
- 19:00 ~ 20:00 社員の方と夕食！
- 20:30 ~ デモ機製作